

第8回公開講演会「日本学研究と日本語教育との連携：ポーランドの場合」  
 カタジーナ・ソンネンベルグ  
 (ヤギエロン大学・クラクフ・ポーランド・国際交流基金フェロー)

日本語教育・日本学研究の連携の可能性  
 ポーランドを例に

カタジーナ・ソンネンベルグ  
 ヤギエロン大学・クラクフ・ポーランド  
 国際交流基金フェロー(お茶の水女子大学)

ポーランド



長い歴史を持つ国



1364年に大学が創立されてから  
 研究の中心地となったクラクフ



独立への道に辿り着いた  
 ポーランド



ワルシャワ

- 1919年に始めて日本語の講座が開かれた
- 1956年に氏のWiesław Kotański氏の努力  
 によって日本学科が設置された
- ヨーロッパ日本研究協会の  
 会議をはじめ、国際会議や  
 シンポジウムがよく行われる

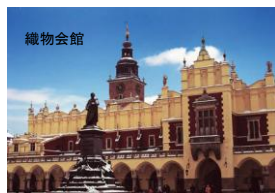
文化科学宮殿



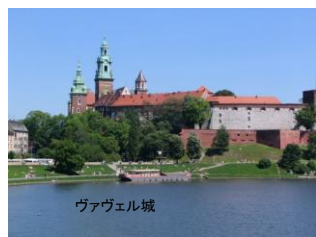
クラクフ



聖マリア教会



織物会館



ヴァヴェル城

クラクフ

- 14世紀に創立されたヤギエロン大学で  
 1987年に東洋学科の一部として日本学科が  
 開かれた(現在、日本・中国学科)
- 日本美術や技術が展示されている“マンガ  
 博物館
- イエズス会が開設した私立大学でも  
 東アジア研究学部が開かれる予定

第8回公開講演会「日本学研究と日本語教育との連携：ポーランドの場合」  
カタジーナ・ゾンネンベルグ  
(ヤギエロン大学・クラクフ・ポーランド・国際交流基金フェロー)

**ポズナン**



- 1987年に東洋学科の中で、日本学科が設置された

**トルン**



2008年に、コペルニクスの出身地として有名であるトルンでも新しい日本学部が設置された

**フランスを中心としたジャポニズムの影響**



Stanisław Wyspiański




Wojciech Weiss




Waclaw Sieroszewski

**日本学へ向かい**

- Julian Adolf Świącicki  
「文学歴史のモノグラフィ」



- Bronisław Piłsudski  
アイヌの民族歌の録音



**ポーランドの日本学と日本語教育  
相互関係の歴史**

最初の段階:

- 翻訳が重視されている
- 日本語教育も翻訳を方法として行われている
- 日本学研究者は日本語教師の役割を果たしている

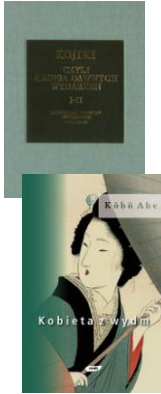
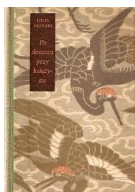
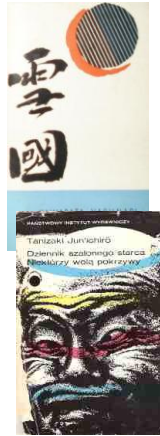
**50年代**

- 共産主義(コミュニズム)や共産党に関係がある書物がよく翻訳される
- 1950年にプロレタリア文学の代表者でもある小林多喜二の『蟹工船』がチェコ語から翻訳される
- 第二次世界大戦を舞台にした大岡昇平の『野火』のよう戦争の残酷を描写する本も検閲を通る





**60年代－90年代  
1. 翻訳を中心に**


- ヴィエスワフ・コタンスキ (Wiesław Kotański) (1915－2005)  
『万葉集』、『古事記』、『雨月物語』、『雪国』等
- ミコワイ・メラノヴィッチ (Mikołaj Melanowicz) (1935－ )  
『砂の女』、『蓼食う虫』、『瘋癲老人日記』等

第8回公開講演会「日本文学研究と日本語教育との連携：ポーランドの場合」  
カタジーナ・ソンネンベルグ  
(ヤギエロン大学・クラクフ・ポーランド・国際交流基金フェロー)

<p>60年代－90年代 2. 翻訳を基にした研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヴィエスワフ・コタンスキ 『日本の神々の遺産』、『神道』 「言霊と『古事記』に関する従来の語訳について」 「日本古代歌謡の解明」</li> <li>・ ミコワイ・メラノヴィッチ 『日本文学』、『日本文学におけるナレーション。日本の現代作家の研究』</li> </ul>	<p>90年代から 対照・比較的研究へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エヴァ・パワシュ・ルトコフスカ (Ewa Pałasz Rutkowska) 『ポーランド・日本国交史1904－1945』</li> <li>・ ロムアルド・フシチャ (Romuald Huszcza) 『自然言語における多体系性および共体系性。東アジア言語圏』</li> </ul>
---	---

	<p>90年代から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アレクサンドラ・シチェフラ (Aleksandra Szczechla) 作品における女性のアイデンティティをはじめ、ジェンダーにかかわる様々な問題</li> <li>・ イヴォナ・コルジンスカ・ナワロツカ (Iwona Kordzińska-Nawrocka) 『平安時代の貴族社会の愛と結婚』</li> <li>・ アグニエシカ・コズイラ (Agnieszka Kozyra) 西田幾多郎の絶対無や禅の哲学</li> <li>・ ベアタ・クビアク・ホ・チ (Beata Kubiak Ho-chi) 三島由紀夫をはじめ現代文学と日本の美学</li> </ul>
--	---

	<p>90年代から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本留学者の増加</li> <li>・ 新しい研究方向への展開</li> <li>・ 他のヨーロッパの国々との交流 例) ムルザシフレのワークショップ、 4月2009年</li> </ul>
---	--

<p>ムルザシフレのワークショップ</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="5">Thursday 16.04.2009</th> </tr> <tr> <td>08:00 - 08:45</td> <td colspan="4">breakfast</td> </tr> <tr> <td>09:00-09:45</td> <td colspan="4">plenary lecture - prof. Stefaniski</td> </tr> <tr> <td>10:00 - 10:45</td> <td colspan="4">plenary lecture - Prof. Donath</td> </tr> <tr> <td></td> <td>LINGUISTICS</td> <td>LITERATURE</td> <td>MEDIA</td> <td>CALLIGRAPHY</td> </tr> <tr> <td>11:00 - 12:30</td> <td>Jablonski</td> <td>Sonnenberg</td> <td>Merklein</td> <td>Ishihara (10)</td> </tr> <tr> <td>12:45 - 14:15</td> <td>Majczak</td> <td>Leščičak</td> <td>Mizuo</td> <td>Ishihara (10)</td> </tr> <tr> <td>14:15 - 15:45</td> <td colspan="4">lunch time - on your own</td> </tr> <tr> <td>15:45-16:45</td> <td>日本語 1</td> <td>日本語 2</td> <td>日本語 3</td> <td>日本語 4</td> </tr> <tr> <td>17:00-18:00</td> <td>日本語 1</td> <td>日本語 2</td> <td>日本語 3</td> <td>日本語 4</td> </tr> <tr> <td>18:00 - 19:00</td> <td colspan="4">dinner (included)</td> </tr> <tr> <td>19:15 - ?</td> <td colspan="4">integrative activities - staff and students separately</td> </tr> <tr> <th colspan="5">Friday 17.04.2009</th> </tr> <tr> <td>08:00 - 08:45</td> <td colspan="4">breakfast</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ARTS</td> <td>GENDER</td> <td>HISTORY</td> <td>CALLIGRAPHY</td> </tr> <tr> <td>09:00-10:30</td> <td>Lecliska</td> <td>Szczehla</td> <td>Meyer</td> <td>Ishihara (10)</td> </tr> <tr> <td>10:45-12:00</td> <td>Takeda</td> <td>Newelska</td> <td>Nowak</td> <td>Ishihara (10)</td> </tr> <tr> <td>12:15-13:15</td> <td colspan="4">plenary lecture - prof. Majewicz</td> </tr> <tr> <td>13:30 - 14:15</td> <td colspan="4">plenary lecture - prof. Huszcza</td> </tr> <tr> <td>14:15 - 15:45</td> <td colspan="4">lunch time - on your own</td> </tr> <tr> <td>15:45-16:45</td> <td>日本語 1</td> <td>日本語 2</td> <td>日本語 3</td> <td>日本語 4</td> </tr> <tr> <td>17:00 - 18:00</td> <td>日本語 1</td> <td>日本語 2</td> <td>日本語 3</td> <td>日本語 4</td> </tr> </table>	Thursday 16.04.2009					08:00 - 08:45	breakfast				09:00-09:45	plenary lecture - prof. Stefaniski				10:00 - 10:45	plenary lecture - Prof. Donath					LINGUISTICS	LITERATURE	MEDIA	CALLIGRAPHY	11:00 - 12:30	Jablonski	Sonnenberg	Merklein	Ishihara (10)	12:45 - 14:15	Majczak	Leščičak	Mizuo	Ishihara (10)	14:15 - 15:45	lunch time - on your own				15:45-16:45	日本語 1	日本語 2	日本語 3	日本語 4	17:00-18:00	日本語 1	日本語 2	日本語 3	日本語 4	18:00 - 19:00	dinner (included)				19:15 - ?	integrative activities - staff and students separately				Friday 17.04.2009					08:00 - 08:45	breakfast					ARTS	GENDER	HISTORY	CALLIGRAPHY	09:00-10:30	Lecliska	Szczehla	Meyer	Ishihara (10)	10:45-12:00	Takeda	Newelska	Nowak	Ishihara (10)	12:15-13:15	plenary lecture - prof. Majewicz				13:30 - 14:15	plenary lecture - prof. Huszcza				14:15 - 15:45	lunch time - on your own				15:45-16:45	日本語 1	日本語 2	日本語 3	日本語 4	17:00 - 18:00	日本語 1	日本語 2	日本語 3	日本語 4	<p>日本学科</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) BA・MA 制度の実践</li> <li>2) 日本学と日本語教育の分極化</li> <li>3) 論文テーマの例： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1) 紀貫之：平安時代の言葉やスタイルへの影響(2002年)</li> <li>・ 2) 池間島の言葉：琉球語を巡って(2004年)</li> <li>・ 3) 上代日本語の動詞活用型とその起源(2004年)</li> <li>・ 4) 紫式部：11世紀の日記文学への影響(2005年)</li> <li>・ 5) 土方巽：想像力の道へ(2006年)</li> <li>・ 6) 与謝野晶子と日本のフェミニズム(2006年)</li> <li>・ 7) 下町言葉・山の手言葉を巡って(2006年)</li> </ul> </li> </ol>
Thursday 16.04.2009																																																																																																															
08:00 - 08:45	breakfast																																																																																																														
09:00-09:45	plenary lecture - prof. Stefaniski																																																																																																														
10:00 - 10:45	plenary lecture - Prof. Donath																																																																																																														
	LINGUISTICS	LITERATURE	MEDIA	CALLIGRAPHY																																																																																																											
11:00 - 12:30	Jablonski	Sonnenberg	Merklein	Ishihara (10)																																																																																																											
12:45 - 14:15	Majczak	Leščičak	Mizuo	Ishihara (10)																																																																																																											
14:15 - 15:45	lunch time - on your own																																																																																																														
15:45-16:45	日本語 1	日本語 2	日本語 3	日本語 4																																																																																																											
17:00-18:00	日本語 1	日本語 2	日本語 3	日本語 4																																																																																																											
18:00 - 19:00	dinner (included)																																																																																																														
19:15 - ?	integrative activities - staff and students separately																																																																																																														
Friday 17.04.2009																																																																																																															
08:00 - 08:45	breakfast																																																																																																														
	ARTS	GENDER	HISTORY	CALLIGRAPHY																																																																																																											
09:00-10:30	Lecliska	Szczehla	Meyer	Ishihara (10)																																																																																																											
10:45-12:00	Takeda	Newelska	Nowak	Ishihara (10)																																																																																																											
12:15-13:15	plenary lecture - prof. Majewicz																																																																																																														
13:30 - 14:15	plenary lecture - prof. Huszcza																																																																																																														
14:15 - 15:45	lunch time - on your own																																																																																																														
15:45-16:45	日本語 1	日本語 2	日本語 3	日本語 4																																																																																																											
17:00 - 18:00	日本語 1	日本語 2	日本語 3	日本語 4																																																																																																											

第8回公開講演会「日本学研究と日本語教育との連携：ポーランドの場合」  
カタジーナ・ソンネンベルグ  
(ヤギエロン大学・クラクフ・ポーランド・国際交流基金フェロー)

日本学と日本語教育の分極化の原因  
や連携の可能性1

- コミュニカティブなアプローチの導入によって生じた副次効果
- 一> 研究資料の読解や要約・研究の結果を巡ったディスカッションも周辺的な位置におかれている
- => 日本語の授業のときも、研究資料を利用し、専門用語を導入し、学生に日本語でディスカッションをさせる

日本学と日本語教育の分極化の原因  
や連携の可能性2

- 欧米と日本の議論の流れやディスコースの違い
- 一> 欧米では日本学が英語で行われる
- 一> 細かい問題より、全体的な問題を理論的に論じることが多い
- => 国際日本学シンポジウム、ワークショップ、欧米と日本共同研究プロジェクト・専門雑誌

日本学と日本語教育の分極化の原因  
や連携の可能性3

- 言語教育の位置づけ
- 一> 必要不可欠な分野として認められも、研究分野として高く評価されていない
- => ヨーロッパの各国の日本語教育の専門家を育てること、対照的な言語学を進める

参考文献

- 大島 弘子「日本学研究は誰のものか—フランスにおける日本語教育と日本学—」第4回 国際日本学コンソーシアム「日本学研究はだれのものか？」平成21年(2009)12月15日 於 お茶の水女子大学
- 森山新(2007)「グローバル時代に求められる総合的日本語教育と認知言語学」『研究年報』3、111-117、お茶の水女子大学比較日本学研究センター
- Alberowa, Zofia, *Inspiracje sztuką Japonii w malarstwie i grafice polskich modernistów / katalog wystawy* MN, Kraków, Kielce 1981
- Huszcza, Romuald, Maho Ikushima, Jan Majewski *Gramatyka japońska tom 1, Dialog*, Warszawa 1998
- Kempf, Zdzisław *Orientalizm Wacława Sieroszewskiego: wątki japońskie*, PWN, Warszawa, Wrocław 1982
- Kottański, Wiesław *Dziedzictwo japońskich bogów: uranokracja*, Zakład Narodowy im. Ossolińskich, Wrocław 1995
- Melanowicz, Mikołaj *Literatura japońska T. 1-3*, PWN, Warszawa 1994,1996
- <http://www.filg.ui.edu.pl/ifo/jpen/prace%20doktorskie%20i%20magisterskie.pdf>
- <http://www.filg.ui.edu.pl/ifo/japonistyka/workshop2009/>
- [http://www.japanalaptvany.hu/honlap/Report\\_on\\_JLT\\_CEE\\_](http://www.japanalaptvany.hu/honlap/Report_on_JLT_CEE_)
- <http://www.orient.uw.edu.pl/pl/japonistyka/>
- <http://www.pl.emb-japan.go.jp/>
- <http://psbj.orient.uw.edu.pl/new.php?m=1&lang=jp>

ご清聴有難うございました

